

夏休み農業体験ツアーで農業に触れる



8月18日、「夏休み農業体験ツアー」が行われ、市内の小学6年生38人が参加しました。これは、農業者海外研修事業の参加者で組織されている雄飛会が、子どもたちに農業への関心を持ってもらおうと、夏休みを利用して、毎年開催しているもの。ツアーでは、小雨の降る子どもたちは牛の乳搾りや芋掘りなどを実際に体験。農業に触れる貴重な1日となりました。



「新米イクヒカリ」初出荷

8月4日、JA肝付吾平町で「美里吾平新米イクヒカリ出発式」が行われました。これは収穫の無事への感謝と今後の販売促進を祈念して開催。吾平地域のイクヒカリは、昨年、日本穀物検定協会による食味試験で、早期米として県内で約30年ぶりにAランクを取得。出席した生産農家は「冷めてもおいしさが持続し、おにぎりに最適」と紹介していました。

星塚敬愛園で夏祭り納涼大会

7月30日、星塚敬愛園で夏祭り納涼大会が開催されました。この祭りは、入所者と地域住民との交流を深めるために、毎年開催されているもの。会場には手づくりの露店が並び、ステージでは、入所者の歌や職員の踊りのほか、歌手の大江裕さん、中村美津子さんの歌謡ショーも行われました。最後は夜空を鮮やかに彩る花火も打ち上がり、夏祭りを楽しんでいました。

伝統の刀舞く子どもの健やかな成長を願って



8月2日、高須町で祇園祭が行われました。波之上神社で厳かに神事・舞奉納が行われた後、刀、弓、長刀、田の神、鬼神の各舞が町内を巡行しました。舞うたびに田の神や鬼神が、健やかな成長を願って観客の子どもを追いかけ、子ども達は泣きながら逃げ回っていました。当日は町内外から多くの観客が訪れ、伝統の祭りを楽しんでいました。

寄贈者に感謝状を贈呈



8月3日、大始良小・中学校で、両校卒の山下幸一さんへの感謝状贈呈式が行われました。これは、5月に山下さんが市に寄附をされた2,000万円のうち700万円が両校の教育活動として配分され、大始良小へは図書、大始良中へは楽器と図書の購入費に充てられたことにより行われたもの。大始良中では、感謝の意を込めてジャズバンド同好会による楽器演奏も行われました。

災害に備えて協定を締結



8月4日、市内22の郵便局と市の間で災害時の相互協力に関する協定が締結されました。これは災害時において相互に協力し、災害対応をより円滑に遂行することを目的に締結されたもの。この協定の締結により、災害時の迅速な対応と、避難所で臨時的な郵便局業務を機能させるといった避難者の生活環境の向上が期待されます。

女子ソフトボールで全国大会へ



8月4日、中学生女子ソフトボールクラブチーム「大隅レッドエンジェルズ」の監督、選手が市役所を表敬訪問しました。これは同チームが「第15回全日本中学生女子ソフトボール大会鹿児島県予選大会」で2連覇し、全国大会に出場することから行われたもの。選手らは「昨年より良い結果を残したい」と全国大会への抱負を述べました。

鹿屋工業高校の生徒2人が快挙



8月3日、鹿屋工業高校の益山麗斗さんと田中一宇さんが、市役所を表敬訪問しました。益山さんは6月に行われた「高校生ものづくりコンテスト」で優勝し、11月に開催される全国大会に出場することから、また田中さんは難関の「平成27年度測量士」に県内で唯一合格したことから行われたもの。二人は今後も得意分野を伸ばしたいと抱負を述べました。

韓国の小学生らが鹿屋を満喫



8月3日、韓国の山清郡にあるガンディ小学校の児童ら10人が市役所を表敬訪問しました。児童らは、7月30日から修学旅行として市内に滞在し、鹿屋の食と文化を堪能。この日はそれぞれに分かれてホームステイをする日とあって、受入家庭との「民泊対面式」も行われ、元気づくばいの子どもたちは、受入家庭との交流に胸を弾ませていました。

合宿中の2チームが訪れる



8月12日、鹿屋体育大学女子バレーボールチームと合同合宿中のVチャレンジリーグ大野石油オイルズ（広島市）と台湾バレーボールチームの監督や選手6人が市役所を表敬訪問しました。大野石油オイルズは5年連続、台湾チームは2年連続の合宿。市から激励品として台湾チームにバラグッズ、大野石油オイルズに黒豚3kgが贈られました。

柔道で全国大会へ



7月31日、鹿屋東中学校の柔道部の監督、選手らが市役所を表敬訪問しました。これは同部が「平成27年度鹿児島県中学校総合体育大会柔道競技大会」において男子団体戦で4連覇し、個人でも男子が2階級、女子も1階級で優勝し、九州大会と全国大会への出場を決めたことから行われたもの。選手らは「全国大会でも優勝したい」と抱負を述べました。